

農産物販路開拓商談会開催要領

1 目 的

近年、消費者の購買行動の変化に伴い、農産物の販路としてネット販売や宅配などの直販が増加傾向にある中、今後、農業経営を発展させるためには、流通や需要の変化に対応した生産の取組とあわせて、収益率の高い販路の確保が重要である。

また、近年のオンラインを活用した商取引の進展や、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での商談や産地招へい等を通じた販路拡大から、新しい生活様式を踏まえた非対面式の商談スタイルへの転換を進めていく必要がある。

そこで、オンライン形式での商談会を開催し、ネット販売や直販に取り組む企業と農業者・農業者団体とのマッチングの場を設けることにより、農業者の経営力の向上及び農産物の販路開拓・拡大を図る。

- 2 日 時 令和2年9月9日（水）～11日（金）10：00～17：00
※事前予約マッチング制とし、期間中で商談スケジュールを調整する。
商談時間は1回10分程度を想定。
- 3 内 容 PC、スマートフォン等ネット接続が可能な媒体からWEB会議システムにアクセスし、バイヤーと商談を行う。
※使用するテレビ会議システムは「Zoom」を想定。
- 4 募集範囲 県内農業者、農業団体等

【別紙】

農産物販路開拓商談会 出展企業一覧

No.	企業名※	事業内容
1	オイシックス・ラ・大地 (株)	ウェブサイトやカタログにより一般消費者への有機野菜，特別栽培農産物，無添加加工食品等，安全性に配慮した食品・食材の販売。
2	(株)カスミ	茨城県を中心に小売販売を行うスーパーマーケット。多くの店舗で地元の生産者が直接農産物を持ち込んで販売する「地元野菜コーナー」を展開。
3	(一社)日本切花輸出入協会	生産者・出荷者からの”生“の商品・提案情報を市場・買参人とその先の花き取扱店まで配信し，市場経由で注文できる，全国の花き市場経由の予約取引プラットフォーム「フラワーマイスター」を運営。
4	(株)農業総合研究所	全国の生産者及び直売所と連携し，自社の集荷場で集荷した農産物を都市部のスーパーを中心にインショップ形式で提供。生産者自らが販売価格や販売先を決めて出荷できる。
5	(株)ビビッドガーデン	生産者がネット上で消費者・飲食店に商品を直販できるオンラインプラットフォーム「食べチョク」を運営。生産者のこだわりがとてよく伝わるサービスとなっている。
6	(株)ポケットマルシェ	生産者が消費者・飲食店に商品を直販出来るオンラインプラットフォーム。登録は無料。全国 3,000 名の生産者が販売中。
7	やさいバス (株)	地域内に「バス停」とした野菜の集出荷場を設置し，共同トラックが配送。Web での注文のやり取りを行い，生産者はバス停に野菜を持ち込み，消費者は事前に設定したバス停に取りに行く。配送コストを抑えた物流事業を展開。
8	(株)よろぎ野. 菜	契約生産者の農産物をスーパー・飲食店・加工業者に卸・販売。商品開発・商談会・農福連携のプロデュースも手掛ける。

※令和 2 年 7 月 2 9 日時点。5 0 音順に記載